現在は閑静な住宅地

小平３・３・８号府中所沢線ができると、約 200 世帯が立ち退きとなります。大きな２つの道路にはさまれた住宅地は、道路の中州のようになり、騒音や振動、大気汚染の悪化が大変心配です。

用途地域は変わるの？

32-36m 幅の道路の両側 30m の用途地域が変更になり、低層の戸建中心だった地域が商業施設やマンションが建てられる地域になると、道路を中心に約 100 mの幅で町並みが一変します。

雑木林が半分削られてしまう！

ゲートゴルフ、太極拳、散策など、地域住民が日常的にくつろぎ、大切な場所と感じている林です。幼稚園や保育園のお散歩、ツリークライミング、野外遊び場、虫とりや自然観察にも絶好の場所です。武蔵野美術大学の野外アート展、夏の連続プレーパークはどちらも盛況で、毎年恒例となっています。この林の約半分が道路になる計画です。

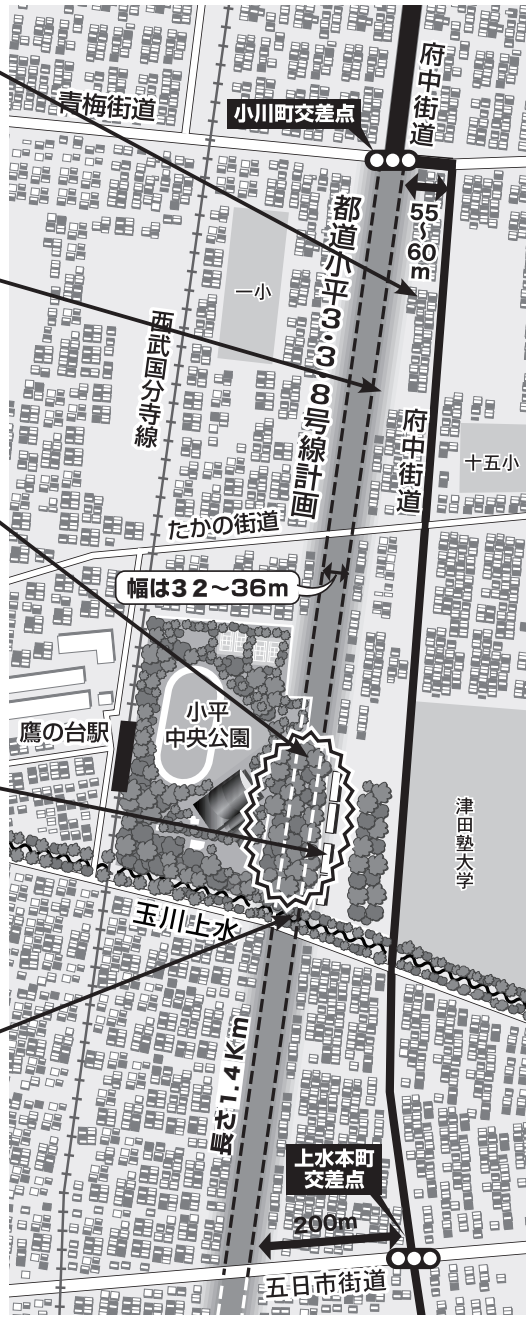
目の前に道路ができると…

約 60 世帯が住む都営住宅の目の前に道路ができる計画です。「今は毎日子どもが公園で好きなだけ遊んでいるが、道路ができたら子どもだけでは外に出せない環境になる」との声も。大きな道路に学区は分断されます。ゆっくりしか歩けない小さな子どもやお年寄りには、歩道橋や横断歩道を渡るのも大変です。

玉川上水はどうなるの？

小平３・３・８号線は、国の史跡であり、小平グリーンロードの一部でもある玉川上水と交差する計画ですが、都の都市計画変更案では、平面での交差としています。玉川上水は両脇に橋脚を打ち込まれ、美しい緑道の景観は一変します。玉川上水と雑木林で、合計 481 本もの木が伐採予定となっています。

イラストマップで見る 都道小平３・３・８号線計画



map by Hiroko Kagimoto

どんぐり通信

1号

【保存版】

「どんぐり通信」１号は、中央公園に隣接する雑木林や玉川上水など、地元の住民や子どもたちにとっての生活環境を大事にしたいという視点で、都市計画道路小平 338 号線について考え、話し合う材料を提供しようとまとめました。

どんぐり通信 １号【保存版】2011.10.22 改訂版
発行：どんぐりの会
代表：尾川 直子
e-mail：josuidonguri@gmail.com
ブログ：http://dongurinokai.net